

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 28 日	
富山県知事	
新 田 八 朗 殿	
提出者	
住 所 富山県射水市大江1133	
氏 名 代表取締役社長 片口 真	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0766-55-3700	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	立山化成株式会社 富山工場
事業場の所在地	富山県射水市大江1133
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	売上高 71億円（2023年実績）
③ 従業員数	158名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙1のとおり」

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「別紙2のとおり」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		「別紙3のとおり」
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物の発生抑制を促す啓発活動（呼びかけ、掲示等）の推進。		
②計画	【目標】		「別紙3のとおり」
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の発生内容を吟味し、廃棄物の発生抑制のアイデアを創出する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物を種類・製造品目ごとに分け、適切に保管・管理。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も継続して、産業廃棄物の適切な保管・管理を行う。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）  該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）  予定なし。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	（これまでに実施した取組）  該当なし。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）  予定なし。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		「別紙3のとおり」
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結。		

②計画	【目標】	「別紙3のとおり」	
	産業廃棄物の種類_		
	全 処 理 委 託 量_	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・優良産廃処理業者認定制度により認定されている業者との取引の維持・推進。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

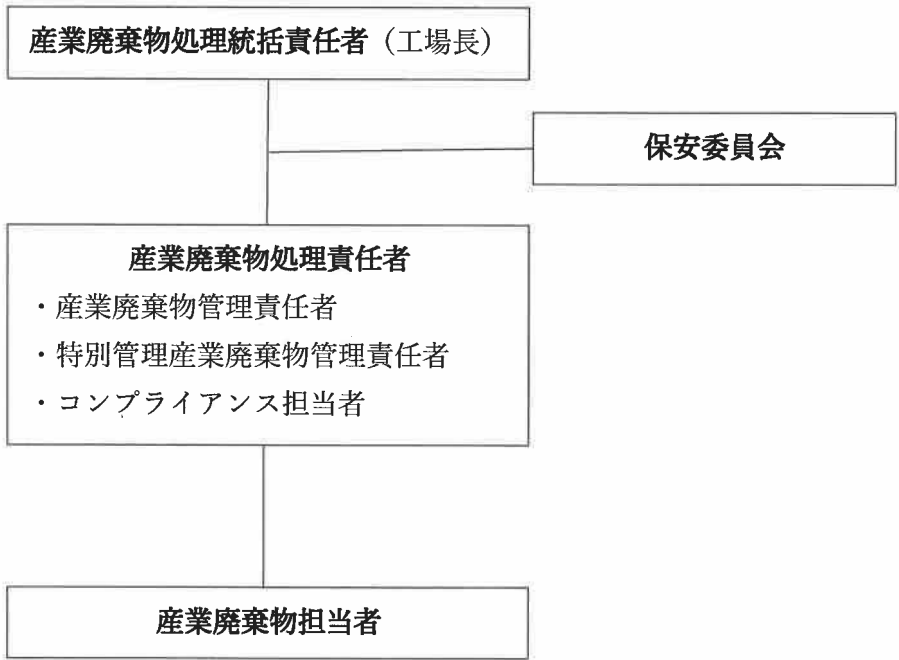
別紙 1

産業廃棄物の発生、処理フローシート



別紙 2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

産業廃棄物処理統括責任者（工場長）	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物処理方針の策定</li><li>・廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認</li></ul>
保安委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物処理に関する検討（発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な管理運営を行う上で必要な事項を検討）</li></ul>
産業廃棄物処理責任者（産業廃棄物管理責任者/特別管理産業廃棄物管理責任者/コンプライアンス担当者）	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物、特別管理産業廃棄物処理計画書作成</li><li>・廃棄物の管理状況の把握と改善策の検討</li><li>・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理</li><li>・委託契約の締結</li><li>・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理</li><li>・監督官庁への各種報告</li><li>・社員、関連会社に対する教育、啓発活動</li><li>・その他関係する事項</li></ul>
産業廃棄物担当者	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物の管理状況の把握と改善策の検討</li><li>・産業廃棄物保管施設の維持管理</li></ul>





【産業廃棄物の排出の抑制に関する事項】

①現状【前年度（2023年度）実績】 単位：t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	蛍光灯	乾電池	合計
排出量	1074.680	45.494	0.000	0.370	26.181	7.570	0.400	0.044	0.033	1154.772

②計画【目標】 単位：t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	蛍光灯	乾電池	合計
排出量	1050.000	45.000	0.000	0.400	25.000	7.500	0.400	0.040	0.030	1128.370

【産業廃棄物の処理の委託に関する事項】

①現状【前年度（2023年度）実績】 単位：t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	蛍光灯	乾電池	合計
全処理委託量	1074.680	45.494	0.000	0.370	26.181	7.570	0.400	0.044	0.033	1154.772
優良認定処理業者への処理委託量	1074.680	44.214	0.000	0.370	26.181	0.900	0.400	0.044	0.033	1146.822
再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	3.050	7.570	0.000	0.044	0.033	10.697
認定熱回収業者への処理委託量	676.400	41.990	0.000	0.000	0.616	0.000	0.000	0.000	0.000	719.006
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	398.280	3.504	0.000	0.370	22.515	0.000	0.400	0.000	0.000	425.069

②計画【目標】 単位：t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	蛍光灯	乾電池	合計
全処理委託量	1050.000	45.000	0.000	0.400	25.000	7.500	0.400	0.040	0.030	1128.370
優良認定処理業者への処理委託量	1050.000	45.000	0.000	0.400	25.000	1.000	0.400	0.040	0.030	1121.870
再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	3.000	7.500	0.000	0.040	0.030	10.570
認定熱回収業者への処理委託量	650.000	41.000	0.000	0.000	1.000	0.000	0.000	0.000	0.000	692.000
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	400.000	4.000	0.000	0.400	21.000	0.000	0.400	0.000	0.000	425.800